

様式（加速化）第 1－3（第 7 条第 1 項関係）

第 号

平成 30 年 4 月 24 日

国土交通大臣 殿

（宿泊事業者等団体）

認定管理番号

団体住所 新潟県新潟市中央区新光町 17 番地

団体名称 新潟県旅館ホテル組合

代表者 野澤 幸司

平成 28 年度訪日外国人旅行者受入加速化事業稼働率等実施状況報告書

訪日外国人旅行者受入加速化事業費補助金交付要綱第 7 条の規定に基づき、別紙のとおり関係書類を添えて報告します。

様式（加速化）第 1－3 別紙

宿泊事業者等団体

名称	新潟県旅館ホテル組合			
住所	〒950-0842 新潟県新潟市中央区新光町17番地			
代表者氏名	理事長 野澤幸司			
連絡先	TEL (025) 384-0761			
構成員	国際佐渡観光ホテル八幡館、長養館、ロイヤルホテル小林 ホテル小柳、里山十帖、NASAPAニューオータニ、 蓬莱館福引屋、薯蕷の里ゆめや、角屋旅館、ますがた荘、 ホテル丸井、ニューハートピア新潟瀬波 (構成員12者、うち補助対象事業者12者)			
団体事業	具体的な内容	なし		
	実施時期			
	必要な資金の額及びその調達方法			
個別事業	具体的な内容	Wi-Fi整備 5件、トイレの洋式化 4件、 客室の和洋室化 1件、自社サイトの多言語化 3件、 タブレット端末の導入 1件		
	実施時期	平成29年6月25日～平成29年8月30日		
	必要な資金の額及びその調達方法	補助対象経費合計 15,762,014円 補助金合計 7,409,000円		
全体稼働率の目標及び実績値		<事業開始前> (H28年度)	<目標> (H29年度)	<実績値> (H29年度)
	第1四半期 (4～6月)	37.9 (%)	42.2 (%)	(%)
	第2四半期 (7～9月)	44.5 (%)	48.2 (%)	(%)
	第3四半期 (10～12月)	44.6 (%)	49.7 (%)	58.0 (%)
	第4四半期 (1～3月)	34.5 (%)	40.1 (%)	45.4 (%)

<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>○第3四半期の目標は達成したものの、特に12月は、降雪により多くのスキー場がオープンしたこともあり、前年度比増加。一方で、第4四半期は、1月が県内や首都圏等での大雪による交通機関への影響等もあり、魚沼・上越地域で前年度から減少が見られた。</p>			
<p>合計外客宿泊者数の目標及び実績値</p>		<p><事業開始前> (H28年度)</p>	<p><目標> (H29年度)</p>	<p><実績値> (H29年度)</p>
	<p>第1四半期 (4~6月)</p>	<p>891 (人)</p>	<p>1192 (人)</p>	<p>(人)</p>
	<p>第2四半期 (7~9月)</p>	<p>367 (人)</p>	<p>692 (人)</p>	<p>(人)</p>
	<p>第3四半期 (10~12月)</p>	<p>891 (人)</p>	<p>1455 (人)</p>	<p>1510 (人)</p>
	<p>第4四半期 (1~3月)</p>	<p>1942 (人)</p>	<p>2823 (人)</p>	<p>3428 (人)</p>
<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>○第3四半期は中国エージェントの送客により、目標を達成できた。第4四半期については、中国の春節に伴い、越後湯沢のスキー客が好調で、全体数を押し上げた結果となった。</p>			
<p>その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策</p>	<p>更なる訪日外国人の獲得を目指し、以下の取組を行っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊事業者団体（新潟県旅館ホテル組合）ホームページとのリンクを強化し、SNS（特にインスタグラム）活用で国内・外の発信力を高める。 ・ 県観光協会、県との連携を図り、積極的に海外プロモーションに参加し、地域、施設のPRを行い誘客を図る。 ・ 地域全体での誘客活動を活発化させ、広域地域連携で新潟県全体の受入態勢や活動を行っていく。 ・ インバウンドにおいては、スノーシーズン以外にグリーンシーズンへのリピーター対策が必要であり、メニュー開発や外国人向けの体験型プログラム、観光ルートや交通アクセスの開発を行っていく。 			

様式（加速化）第 1－3（第 7 条第 1 項関係）

第 号
平成 30 年 4 月 19 日

国土交通大臣 殿

住 所 石川県加賀市片山津町ツ 71 番地
名 称 南加賀インバウンド推進協議会
代 表 者 森本 康敬 印

平成 2 8 年度訪日外国人旅行者受入加速化事業稼働率等実施状況報告書

訪日外国人旅行者受入加速化事業費補助金交付要綱第 7 条の規定に基づき、別紙のとおり関係書類を添えて報告します。

様式（加速化）第1-3 別紙

宿泊事業者等団体

名称	南加賀インバウンド推進協議会			
住所	〒922-0414 石川県加賀市片山津町ツ71			
代表者氏名	森本 康敬			
連絡先	0761-74-1133			
構成員	湖畔の宿森本、かのや光楽苑、加賀片山津温泉佳水郷、大江戸温泉物語ながやま、まつさき、たがわ（旅亭萬葉）、かよう亭、白鷺湯たわらや、胡蝶、花紫、お花見久兵衛、加賀観光ホテル別館季がさね、あらや滔々庵、厨八十八 (構成員 14者、うち補助対象事業者 14者)			
団体事業	具体的な内容	なし		
	実施時期	なし		
	必要な資金の額及びその調達方法	なし		
個別事業	具体的な内容	(1) 館内及び客室内のWi-Fi整備 9件 (2) 館内及び客室内のトイレの洋式化 8件 (4) 自社サイトの多言語化 2件 (6) 客室の和室化 1件 (10) その他 1件		
	実施時期	平成28年11月20日～平成28年12月29日 平成29年5月24日～平成29年8月24日		
	必要な資金の額及びその調達方法	第2回補助対象経費 18,569,800円 補助金合計 8,527,800円 第3回補助対象経費 17,403,296円 補助金合計 7,257,000円		
全体稼働率の目標及び実績値		<事業開始前> 平成28年	<目標> 平成29年	<実績値> 平成29年
	第1四半期	55.0 (%)	60.0 (%)	52.6 (%)
	第2四半期	67.0 (%)	75.5 (%)	56.3 (%)
	第3四半期	70.5 (%)	80.1 (%)	63.5 (%)

	第4四半期	50.0 (%)	72.1 (%)	55.5 (%)
<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>加賀温泉郷全体では【宿泊】1,811,670人(昨年対比95%) 【日帰り】191,403人(昨年対比101%) 【月別】3月のみ前年を上回り、2月・10月は特に前年よりも悪かった(10月は2度の大型台風の影響)。 ・【発地別】対前年で、外国人+18,332人、関西+11,002人と大きく増加。逆に、関東-30,757人、石川県-22,681人、福井県-19,344人、中京-15,057人と大きく減少。 ※外国人:4月5月に特に多くなる。アルペンルート人気に影響 ※関東:1年間を通して最も多かった月が11月。仮説として、「カニ解禁」の効果に関東でも出始めていることがうかがえる。 ※石川県:宿泊だけにフォーカスすると、1月12月にもっとも数が増える。忘新年会での利用が多い事がうかがえる。 ※関西・中京:関西は、11月～3月のカニシーズンでの入込が増える傾向がある。一方、中京は、グリーンシーズンで増える傾向がある。 ★<同行者>外国人旅行者の増加の影響か「団体旅行」シェアがアップ。<年齢別>大きな変化なし。<予約経路>インターネットが若干減少。直予約が若干増加しピーター増がうかがえる。 ★外国人旅行者は、1位台湾、2位中国本土、3位韓国、4位香港。台湾はシェア58.4%、昨年対比+7,758人で圧倒的。知名度向上 南加賀インバウンド推進協議会の旅館では改装工事した旅館が2軒あり数字が伸びなかった。大型旅館の事業継承があり、経営者運営者が変わり経営方針が転換し、その間入込人数が減少したことが全体の数字に影響したと見られる。</p>			
<p>合計外客宿泊者数の目標及び実績値</p>		<p><事業開始前> 平成28年</p>	<p><目標> 平成29年</p>	<p><実績値> 平成29年</p>
	第1四半期	6050 (人)	7260 (人)	6222 (人)
	第2四半期	3540 (人)	4250 (人)	2667 (人)
	第3四半期	3546 (人)	6280 (人)	3483 (人)
	第4四半期	3164 (人)	5250 (人)	3451 (人)
<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>加賀温泉郷全体では対前年で外国人+18,332人だったが、当協議会が目標に達していない理由として、南加賀インバウンド推進協議会の旅館で特に大型旅館で27・28年度にあった団体ツアーの減少が目立ち数字的には減少した。一方で小中型旅館ではF I Tのお客が増え、欧米系のお客</p>			

	<p>がふえたのが29年度の特徴であった。</p>
<p>その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策</p>	<p>今年度はインバンドのお客様の獲得の為以下の事業を行う 国際交流サービス協会（IHCSA）とのタイアップ事業 東京在住の駐日大使・大使館員及びその家族の皆様（約20名）を加賀市に1泊2日で招へいし、現地体験ツアー（1泊2日）を通じ、全世界に情報発信する取組 ミス・インターナショナル世界大会出場者20名を現地体験ツアー（1泊2日）に招へいし、加賀市・石川県等の魅力を世界に発信 丸の内トラストタワーとのタイアップ事業 欧米系の外国人の来訪が多い場所でのPR 金沢駅構内インフォメーションセンター設置事業 金沢来訪のインバウンド客へのPR ミシュランガイド対策（越前加賀観光推進協議会との連携）敦賀延伸開業までに加賀市・福井県境エリアの掲載地・施設「増」の実現 台湾Webマガジン「haveAnice」や雑誌「秋刀魚」（発行部数3万5千部／隔月発行）等の媒体を招待し、記事掲出による情報発信 タイTV番組「ジャパンアロイ（日本美味しい）」（30分番組）の誘致 イベント「JAPAN EXPO THAILAND」への出展 タイ インフルエンサー（情報拡散者）を招へいし、「食」「写真映えする景色」を通して地域の魅力を発信。地域のモノづくりのストーリーを通し、クラフトツーリズムの観点からも魅力発信します VISIT JAPANトラベル&MICEの参加 「ジャパントガイド」（WEB展開）とのタイアップ事業 国内インバウンド関係者を対象にしたファムトリップ事業 YouTube動画配信・WEBサイト誘導宣伝事業 YouTube動画配信用映像の制作 パワーブロガー招へい事業（台湾語・英語、） 観光地でのWiFiの整備</p>

様式（加速化）第 1－3（第 7 条第 1 項関係）

第 号

平成 30 年 4 月 19 日

国土交通大臣 殿

住 所 長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉 2 9 6 5

名 称 軽井沢旅館組合

代 表 者 組合長 小峰 弘敬 印

平成 28 年度訪日外国人旅行者受入加速化事業稼働率等実施状況報告書

訪日外国人旅行者受入加速化事業費補助金交付要綱第 7 条の規定に基づき、別紙のとおり関係書類を添えて報告します。

様式（加速化）第 1－3 別紙

宿泊事業者等団体

名称		軽井沢旅館組合			
住所		長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉 2 9 6 5			
代表者氏名		組合長 小峰 弘敬			
連絡先		事務局（担当 徳道 千代子） 0 2 6 7 - 4 6 - 3 9 3 0			
構成員		<u>いこい山荘、軽井沢ホテルロンギングハウス、ハイランド・イン・イーズ、ペンションニュー軽井沢、ペンションベルレーヌ</u> (構成員 5 者 うち補助金対象事業者 5 者)			
団体事業	具体的な内容				
	実施時期				
	必要な資金の額及びその調達方法				
個別事業	具体的な内容	トイレ様式化 1 件、Wi-Fi 3 件、客室の和洋室化 1 件 自社サイトの多言語化 1 件、案内表示の多言語化 1 件			
	実施時期	平成 2 9 年 6 月 2 日～平成 2 9 年 8 月 2 5 日			
	必要な資金の額及びその調達方法	補助金対象経費合計 8, 0 5 3, 7 7 1 円 補助金合計 3, 8 8 2, 0 0 0 円			
全体稼働率の目標及び実績値			<事業開始前>	<目標>	<実績値>
		第 1 四半期	3 3 . 8 (%)	3 7 . 6 (%)	3 5 . 4 (%)
		第 2 四半期	5 8 . 2 (%)	6 4 . 7 (%)	6 2 . 3 (%)
		第 3 四半期	3 9 . 5 (%)	4 3 . 9 (%)	3 9 . 4 (%)
		第 4 四半期	3 0 . 2 (%)	3 3 . 6 (%)	2 8 . 6 (%)

<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>達成できなかった理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事期間中の宿泊客への影響を極力避けるため、開始を先延ばしし完了日がずれ込み、お客への告知がスムーズにできなかった。リニューアル後の告知が遅かった。客室を増にしたが、宿泊人数増に繋がらず稼働率が下がった。 			
<p>合計外客宿泊者数の目標及び実績値</p>		<p><事業開始前></p>	<p><目標></p>	<p><実績値></p>
	<p>第1四半期</p>	<p>563 (人)</p>	<p>626 (人)</p>	<p>1,342 (人)</p>
	<p>第2四半期</p>	<p>685 (人)</p>	<p>761 (人)</p>	<p>1,824 (人)</p>
	<p>第3四半期</p>	<p>811 (人)</p>	<p>901 (人)</p>	<p>1,872 (人)</p>
	<p>第4四半期</p>	<p>800 (人)</p>	<p>889 (人)</p>	<p>1,400 (人)</p>
<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>Wi-Fi整備、多言語化、案内版整備、客室やトイレの施設の充実化により、認知度や外客間の紹介等で向上することができ成約率につながった。また平昌オリンピック事前合宿が入ったことは大きかった インバウンド受入のためのスタッフ教育もできたことが良かった。</p>			
<p>その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策</p>	<p>予算的に一つぐらいしか整備できなかったが、これからも必要である。特にインバウンド向けホームページの充実化や、案内用パンフレットを完備させる。</p>			